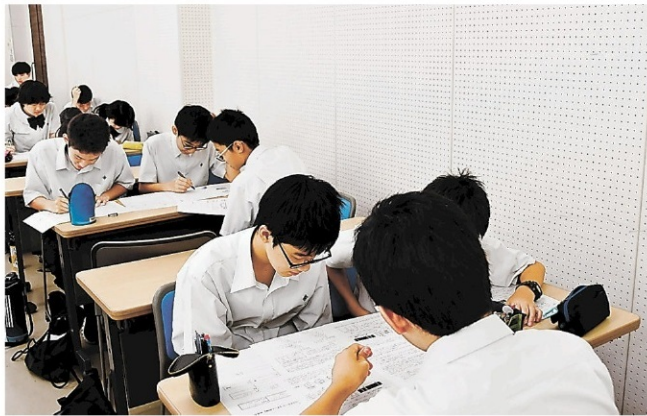


理数GP予選 中学生白熱

県内7ヵ所 400チーム出場



協力して問題に取り組む生徒たち＝4日、福井市の福井大文京キャンパス

科学的な思考力や表現力を競う「理数グランプリ中学校部門のチャレンジステーション」が4日、福井市の福井大文京

キャンパスなど県内7ヵ所で開かれた。県内各地の中学生が参加し、本選出場を懸け、ハイレベルな問題に挑んだ。県

義務教育課が主催。理科部門と数学部門に3人1組の約400チーム、約1200人が出場し、団体戦と個人戦で教科書にはない応用問題に取り組んだ。

同キャンパスでは約560人が時計を用いた計算問題や立体図形の問題などに挑んだ。団体戦では互いに意見を出し合い、解答を相談する姿が見られた。

個人と団体の総合成績で順位が決まり、各部門上位10チームは19日に同キャンパスで開かれる本選に出場する。また1、2年生の上位10チームは、全国大会「科学の甲子園ジュニア」(12月・東京)の最終予選に出場する。(久保貴史)